弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 大腸癌肝転移に対する周術期化学療法の有用性に関する研究

研究の目的

大腸癌肝転移に対しては肝切除が第一選択の治療法とされていますが、高い再発率(約45~70%)が問題となっています。治療成績向上を目的として、術前・術後の化学療法が広く行われていますが、その効果はまだ定まっていません。

本研究では弘前大学医学部附属病院にて大腸癌肝転移に対して肝切除術をお受けになった患者様の診療情報を集め、周術期化学療法が治療成績に与える影響を明らかにすることを目的としております。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2028年12月31日

対象となる方： 2010年1月1日から2026年12月31日までの期間、弘前大学医学部附属病院消化器外科にて、大腸癌肝転移と診断され肝切除術(初回手術に限る)を行った患者様を対象とします。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、採血検査、画像検査、既往歴、BMIなどの患者背景、予後について、標記研究のために利用します。

化学療法施行の有無によって群分けし、統計解析的手法を用いて比較することで、化学療法の有用性を検討し、また化学療法が奏功する患者さまの特徴をあきらかにします。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科 講師 長瀬勇人 電話：0172-33-5111
-------	--